

# エルサルバドル政治経済月報 (2022年9月分)

2022年10月  
在エルサルバドル大使館

## 内政

### 1. ブケレ大統領による2024年大統領選挙への再出馬宣言

9月15日午後8時、ブケレ大統領は、大統領府で行った独立記念日に際するスピーチにおいて、「本日、我々の歴史において、初めて歩んだ正しい道を継続するためにも、大統領候補として再び立候補することをエルサルバドル国民にお伝えする」と発言し、2024年の次期大統領選に再出馬する旨宣言した。この模様は、通常のTV番組を全て中断して、全国放送された。

### 2. ブケレ大統領の2024年大統領選挙再出馬に係る反応（報道）

(1) アウエルバッチ・国民統合のための大連合（GANA）所属国会議員（報道：ラ・プレンサ・グラフィカ）

9月1日、政治討論番組「Frente a Frente」に出演した国民統合のための大連合（GANA）所属のアウエルバッチ国会議員は、ブケレ大統領が2024年大統領選挙への再出馬について、昨年9月に最高裁憲法法廷が現職大統領の連続出馬は可能とする判決を下した旨に触れ、GANAとしては同大統領の連続再選を支持すると述べた。

(2) ウジョア副大統領（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

9月20日、同「Frente a Frente」に出演したウジョア副大統領は、当国の憲法第152条1項の解釈によれば、ブケレ大統領の再出馬が認められている旨指摘した。また、ウジョア副大統領は、選挙法226-A条によると、ブケレ大統領は如何なる政党からも出馬できるとし、またブケレ大統領から要請がある場合、当国憲法の定めにより副大統領が大統領職を引き受けることから、必要であれば同職を引き受ける用意があると言及した。

(3) エスコバル・サンサルバドル大司教（報道：エル・ムンド）

9月25日、エスコバル・サンサルバドル大司教は、ブケレ大統領の2024年次期大統領選挙への再出馬に異論はないとの見方を示した。同大司教は、最高裁憲法法廷が大統領の連続再選は可能との解釈をした他、最高選挙委員会（TSE）が最高裁の判決を遵守する旨発言した点に触れた。

### 3. イベロアメリカの元大統領及び元国家元首によるブケレ大統領の再出馬に対する非難声明（報道：エル・ディアリオ・デ・オイ、エル・ムンド）

(1) 9月21日、スペイン・米州の民主主義イニシアティブ（IDEA）に所属するイベロアメリカ11か国の元大統領及び元国家元首21名は、ブケレ大統領の大統領選への再出馬を非難するとともに、エルサルバドル憲法では大統領が5年以上の任期を務めることは違憲である旨声明を出した。また、仮にブケレ大統領が再選を試みようとする場合、エルサルバドルは民主主義的秩序に深刻な影響を与える憲法の乱れが起き得るとし、米州機構（OAS）に対してエルサルバドルの状況を早急に分析し、民主主義的な枠組みを正常に促すための必要な準備を整えるよう指摘した。

(2) これに対し翌22日、ブケレ大統領は、自身のSNSで「これは、汚職、略奪だけではなく、殺人までも犯した者たちによって署名された声明である、国民から嫌われた連中であり、支持を得るのかひどく心配している」との内容を投稿した。

## 外交

### 1. 英国エリザベス女王陛下の崩御に対するブケレ大統領の追悼メッセージ

9月8日、ブケレ大統領は自身のツイッターにて、「エリザベス2世女王陛下の崩御に深く悲しんでいる、妻ガブリエラと私は、英国国民及び同国王室に対し、深い哀悼の意を表明するとともに、女王陛下の残された遺産は、共感、連帯、奉仕という私たちの共通の価値観にとっての試金石として残り続ける」と発信した。

### 2. 第77回国連総会（9月20日）におけるブケレ大統領による一般討論演説（概要）

(1)エルサルバドル国民は今、団結して自由のために闘っていることをお伝えする。自由という言葉を発言することは容易いことだが、それは粘り強い闘いと多くの犠牲を伴うものである。自由になるためには、強者が我々の自由に敬意を表す必要がある。私は、我々よりも多くの領土、経済、覇権を有する国から蔑ろにされている国から訪問した。

(2)小さくてみずぼらしい家と大きな宮殿に住む人がいると仮定する。小さな家の住民は宮殿の住民に敬意を表すると同時に、宮殿に住む人びとに干渉しようとは思わない。他方、宮殿の住民は宮殿だけではなく、小さな家も自分の所有物であると主張し、小さな家の修理までも行おうとする。だが、いずれの修理も全て失敗に終わった。少なくとも、小さな家の住民は自身の家を掃除したり、塗装や家具の入れ替えや庭に花を植える等を行う権利を有するべきであり、宮殿の住民にはこれらを奪う権利はないはずである。宮殿に住む住民の命令通りに修理を行ったものの、改善することはなかったが、今、小さな家の住民が自らの方法で取り組むことで初めて物事は機能し始めた。

(3)僅かな期間で、エルサルバドルは世界で最も危険な国から安全な国へと変化を遂げている。ギャング集団、殺人、暴力、戦争の国として当国を知る人びともいるが、今では、サーフィンに適したビーチ、絶品のコーヒー、火山、経済的自由、政府による良い統治を有し、ギャング集団との闘いが終わりつつある国として人々は認識し始めている。

(4)国連は、分裂や破壊、服従のために創設された組織ではなく、各国の主権と自決権を絶対的に尊重する形で、より良い共同体を作り、世界の諸問題のための解決策を模索するために組織されたものと認識している。各国民が真に自由で自らの道を開き、それぞれの経験と力で人類の諸問題の解決に貢献する世界を築き上げられると確信する。

(5)私は今、時代遅れの形式に沿う形で壇上で話しているが、この演説が、我々発展途上国自身の見方を変え、相互に尊敬の念を持ち、我々自らが道を築き上げることを知る手がかりとなれば幸いである。

### 3. ヒル外務大臣の日本訪問（エルサルバドル外務省プレスリリース）

(1)9月26日、日本訪問中のヒル外務大臣は日本との二国間関係及び協力関係を強化する目的で林外務大臣と会談を行った。ヒル外務大臣は林外務大臣に対し、エルサルバドル国民の利益のために行っているブケレ大統領のイニシアティブに対する支援に謝意を示すとともに、新型コロナウイルス感染症に関してエルサルバドル政府が行った戦略的な取り組みに対する日本国民及び日本政府の支援に感謝した。また、協力の分野に関して両大臣は、エルサルバドル国民の発展を目的として現在で実施されているプロジェクトのフォローアップを行った。更に、ヒル外務大臣は、本年7月に奈良市において、公的活動中に銃撃を受けて亡くなった安倍元総理大臣の逝去に哀悼の意を表したのに対し、林大臣はヒル大臣の国葬儀出席に感謝の意を表した。

(2)9月27日、ヒル外務大臣はエルサルバドルを代表して安倍元総理の国葬儀に参列した。同国葬儀には200名以上の国及び国際組織の代表者が参列した。ヒル外務大臣は他の代表者らと共に、日本のために奉仕し、長年に亘る政治キャリアを通して、多くの遺産を残した安倍元総理大臣への敬意を込めて献花を行った。同国葬儀において、ヒル外務大臣は、エルサルバドル政府及びエルサルバドル国民を代表し、外交関係樹立から87年が経過する最も重要なパートナーの1つである日本の政府関係者に哀悼の意を表した。

(3)9月30日、ヒル外務大臣は田中 JICA 理事長と会談を行った。同会談において、ヒル外務大臣は JICA の社会的取り組みに対する支援及び JICA がブケレ政権に対し信頼を寄せていることへの謝意を示すとともに、当国政府の優先事項に沿って 2023 年に計画されているイニシアティブについて協議を行った。同会談の最後には、ヒル外務大臣は田中理事長に対し、日本からの投資及びこれまで日本から供与されたリソースが最大級活用されている姿を自身の目で見ていただきたく、エルサルバドルへの訪問を招待した。

## 経済

### 1. ビットコイン債発行の延期（報道：エル・ディアリオ・デ・オイ、エル・ムンド）

大手仮想通貨取引所ビットフィネックス（Bitfinex）のアードイノ最高技術責任者（CTO）は、当国のビットコイン債の発行が 2022 年末まで延期となる可能性がある旨発言した。アードイノ CTO は、ビットコイン債発行が遅れている理由として、現在エルサルバドル政府がギャング集団に対して行っている治安対策の他、同債券の発行を可能とするデジタル証券法が国会で可決されていない点等を挙げた一方で、エルサルバドル政府がデジタル証券法の最終草案を既に用意しており、2022 年 9 月半ばには可決される見込みであると述べた。

### 2. アンデス開発公社（CAF）によるエルサルバドル代表者の任命（報道：ラ・プレンサ・グラフィカ）

9 月 6 日、アンデス開発公社（CAF）は、同銀行のエルサルバドル代表として、アルゼンチン人のアバジェ氏を任命した旨発表した。アバジェ氏は、10 年以上の勤務経験を有する職業外交官であり、国連の常駐代表にも任命された人物である。さらに世銀では、中南米諸国（エルサルバドル、コスタリカ、グアテマラ、ボリビア等）を担当してきた他、世界銀行のニューヨーク及びジュネーブ特別代表を歴任した。

### 3. 当地主要紙「ラ・プレンサ・グラフィカ」によるビットコイン関連のアンケート調査

(1) 9 月 7 日にビットコイン法発効から 1 年を迎えるが、ビットコインによる当国の影響をどのように評価しているか。

- ア 良い：33.9%
- イ 変わらない：6.8%
- ウ 悪い：39.4%
- エ 無回答/分からない：19.9%

(2) ビットコインの法定通貨化に関する利点を知っている、または、聞いたことはあるか。

- ア 利益を生む：7.8%
- イ より良い取引方法：6.0%
- ウ 現金を持ち歩く不必要性：5.1%
- エ 利便さ：3.2%
- オ 投資誘致：2.1%
- カ 新たな決済方法：2.1%
- キ 企業・富裕者層に対する利益：2.0%
- ク 良いもの：1.5%
- ケ 郷里送金を受け取れる方法：1.3%
- コ 利用者に有益：1.3%
- サ 利点はない：21.5%
- シ その他：11.2%
- ス 無回答/分からない：35.0%

(3) ビットコインの法定通貨化に関する欠点を知っている、または、聞いたことはあるか。

- ア ボラティリティの高さ：12.4%

- イ 情報不足 : 7.7%
- ウ 使い方が分からない : 5.4%
- エ 全てを失う可能性がある : 3.4%
- オ 利用が複雑 : 3.4%
- カ 同意できない : 3.0%
- キ チボウォレットを使用していない : 2.9%
- ク 富裕者層のみの利益 : 2.4%
- ケ 価値の下落 : 1.7%
- コ 不正の可能性 : 1.6%
- サ 欠点はない : 10.2%
- シ その他 : 19.1%
- ス 無回答/分からない : 26.6%

(4) ブケレ大統領はビットコインの購入に約1億700万ドルを使用した旨言及しているが、賛成か反対か。

- ア 賛成 : 32.4%
- イ 反対 : 40.1%
- ウ 無回答/分からない : 27.4%

(5) ビットコインに投資をしたことはあるか。

- ア はい : 12.1%
- イ いいえ : 86.8%
- ウ 無回答/分からない : 1.1%

(6) ビットコインでの支払いを望まれた場合、支払いに同意しビットコインを受け取るか。

- ア はい : 21.1%
- イ いいえ : 77.9%
- ウ 無回答/分からない : 1.0%

(7) ビットコインは安全な通貨か不確かな通貨か。

- ア 安全 : 33.5%
- イ 不確か : 43.9%
- ウ 分からない/無回答 : 22.6%

(8) あなた自身または家族の中で海外から郷里送金を直近12か月以内に受け取りをしたか。

- ア はい : 41.2%
- イ いいえ : 57.1%
- ウ 無回答/分からない : 1.7%

(9) (8で「はい」と答えた場合) 郷里送金の受け取りは送金専門会社、またはビットコインか。

- ア 郷里送金会社 : 34.5%
- イ 無回答/分からない : 57.1%
- ウ ビットコイン : 5.5%

(10) 当国の法定通貨の数は1つが良いか、それとも2つ以上が良いか。

- ア 1つ : 65.6%
- イ 2つ以上 : 24.6%
- ウ 無回答/分からない : 9.8%

(11) 当国に相応しい通貨は何か。

- ア 米ドル : 70.2%
- イ ビットコイン : 7.0%
- ウ コロン : 13.8%
- エ ユーロ : 1.1%
- オ その他 : 1.0%
- カ 無回答/分からない : 7.0%

(12) 政府公式デジタルウォレット「チボ」をダウンロードしたことはあるか。

ア はい：54.8%

イ いいえ：43.9%

ウ 無回答/分からない：1.3%

(13)「チボ」はインストールした状態か、それともアンインストールしたか。

ア インストールした状態：28.3%

イ インストールしたがアンインストールした：24.9%

ウ インストールしていない：43.3%

エ 無回答/分からない：3.5%

(14)「チボ」を巡る問題が起きたことはあるか。

ア ある：23.4%

イ ない：76.4%

ウ 無回答/分からない：0.2%

(15) (14で「ある」と答えた場合) 政府機関は問題に対処したか。

ア はい：33.6%

イ いいえ：62.6%

ウ 無回答/分からない：3.7%

(16) 政府公式のビットコイン専用 ATM を利用したことはあるか。

ア はい：27.6%

イ いいえ：70.6%

ウ 無回答/分からない：1.8%

(17)「チボ」以外のデジタルウォレットを利用したことはあるか。

ア はい：9.8%

イ いいえ：89.9%

ウ 無回答/分からない：0.4%

#### 4. 2023年及び2025年償還予定の国債の早期償還日の発表

(1) 9月12日、ブケレ大統領は自身のSNSを通じて、2023年から2025年に償還予定の計16億ドルの国債の早期償還を正式に実施する旨を発表した。早期償還に応じる期間は本年9月12日から20日のニューヨーク時間午後12時迄であり、決済日は同月22日を予定している。

(2) 当国政府は早期償還に応じる額を最大3億6,000万ドルとし、2023年償還予定の国債を1,000ドル当たり910ドル、2025年償還予定の国債を1,000ドル当たり540ドルで償還に応じるとし、債券保有者が同提案を受け入れるかは任意であるとした。

#### 5. フィッチ・レーティングス社による当国国債の格下げ（報道：ラ・プレンサ・グラフィカ、エル・ディアリオ・デ・オイ、エル・ムンド）

(1) 9月15日、世界三大格付会社の1つであるフィッチ・レーティングス社は、エルサルバドルの格付け評価をCCGからCCに格下げした旨を発表した。同社の格付け表によれば、CCは「デフォルトが起こる蓋然性が高い」ことを意味する。

(2) フィッチ社は、エルサルバドルは金融市場へのアクセスが極めて厳しい中で、2023年1月に償還予定の8億ドルのユーロ債による流動性の逼迫により、デフォルトの可能性があるとした。また、当国政府による同ユーロ債を含めた早期償還に関し、同社はこの取り組みがデフォルトの可能性を大きく変えるものではない旨指摘した。さらにフィッチ社は、当国が、本年9月から来年1月までに、10億ドルの財政赤字、8億ドルのユーロ債を含む12億ドルの償還に加えて、15億ドルの短期国債の支払いのために約37億ドルの資金を確保する必要があるとした。

#### 6. 第二回早期償還の発表

9月21日、ブケレ大統領は自身のツイッターを通して、2023年及び2025年償還予定の計16億ドルの国債に係る二回目の早期償還を今後8週間以内に実施する考えである旨を発表した。また22日、セラヤ財務大臣は自身のツイッターを通して、債権者には既に一回目の早期償還を終えた旨

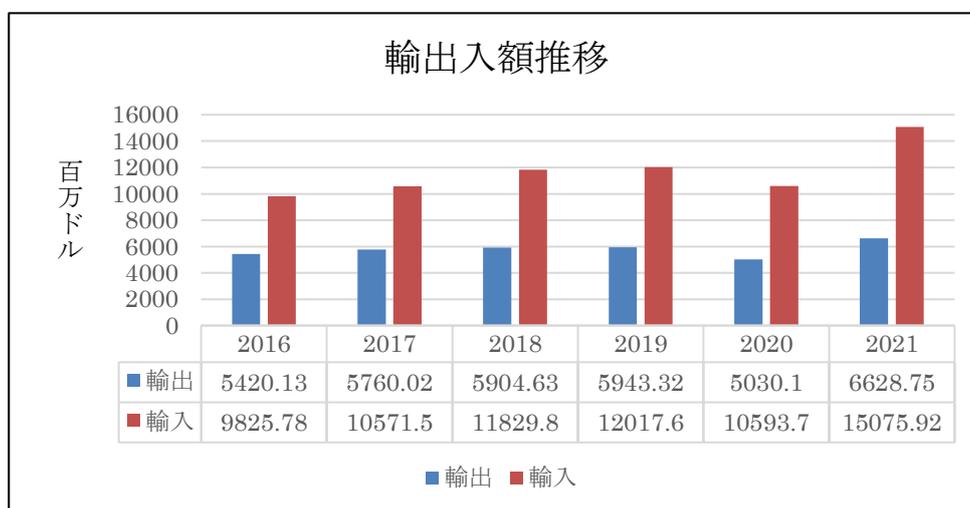
明らかにした。一回目では、計 3 億 5,990 万ドルが早期償還を希望する債券保有者に支払われ、これら同資金は、2023 年償還予定の国債 1 億 3,300 万ドル分の他、2025 年償還予定の国債 4 億 3,250 万ドル分の買戻しとなった。また、2023 年償還予定の国債は、残り 6 億 6,700 万ドルとなり、2025 年償還予定の国債は残り 3 億 6,700 万ドルとなった。

## 7. レンパ川水力発電委員会 (CEL) による地熱発電所の計画発表 (報道: ディアリオ・エルサルバドル、ラ・プレンサ・グラフィカ)

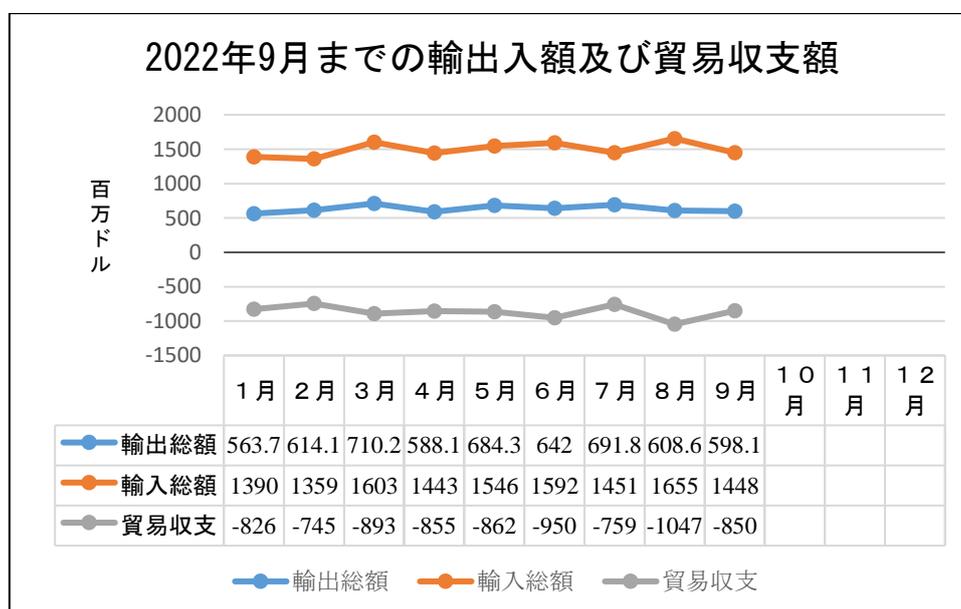
9 月 30 日、アルバレス・レンパ川水力発電委員会 (CEL) 会長は、当国の地熱発電所の増設及び拡張のために 6 億 2,000 万ドルを投資する計画があると発表し、2026 年までにサン・ビセンテ県及びサンミゲル県に位置する地熱発電所 2 箇所の発電量を拡大するとした。また、ウスルタン県のベルリンに位置する地熱発電所の発電量を更に 7.5MW 拡大する他、ラ・リベルタ県に位置するコンチャグア及びアウアチャパン県に位置するクジャナウスルに新たな地熱発電所を建設する考えがあったとした。

## 8. 貿易総額

・2021 年の輸出総額は 66 億 2,880 万ドル (前年比 31.8%増)。輸入総額は 150 億 7,592 万ドル (前年比 47.1%増) となった。

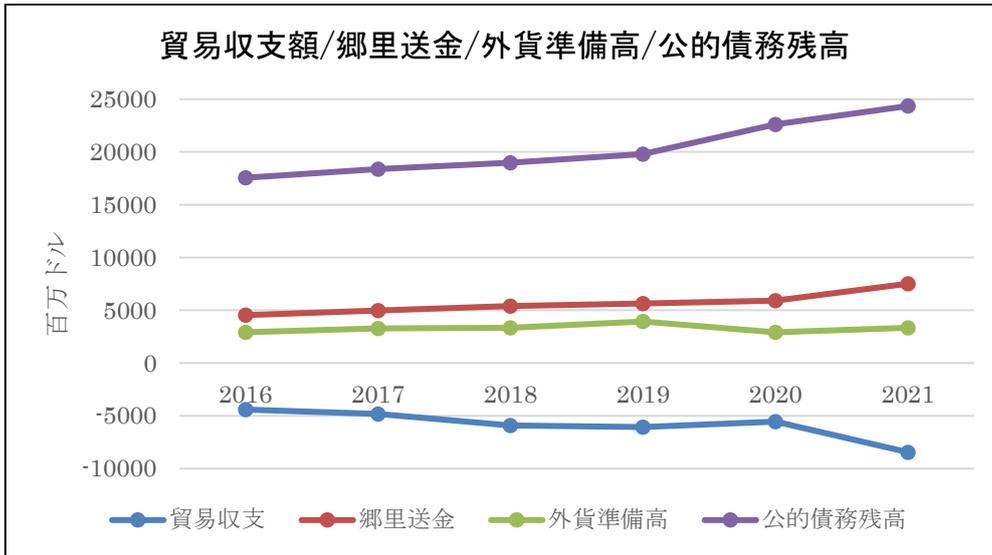


(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

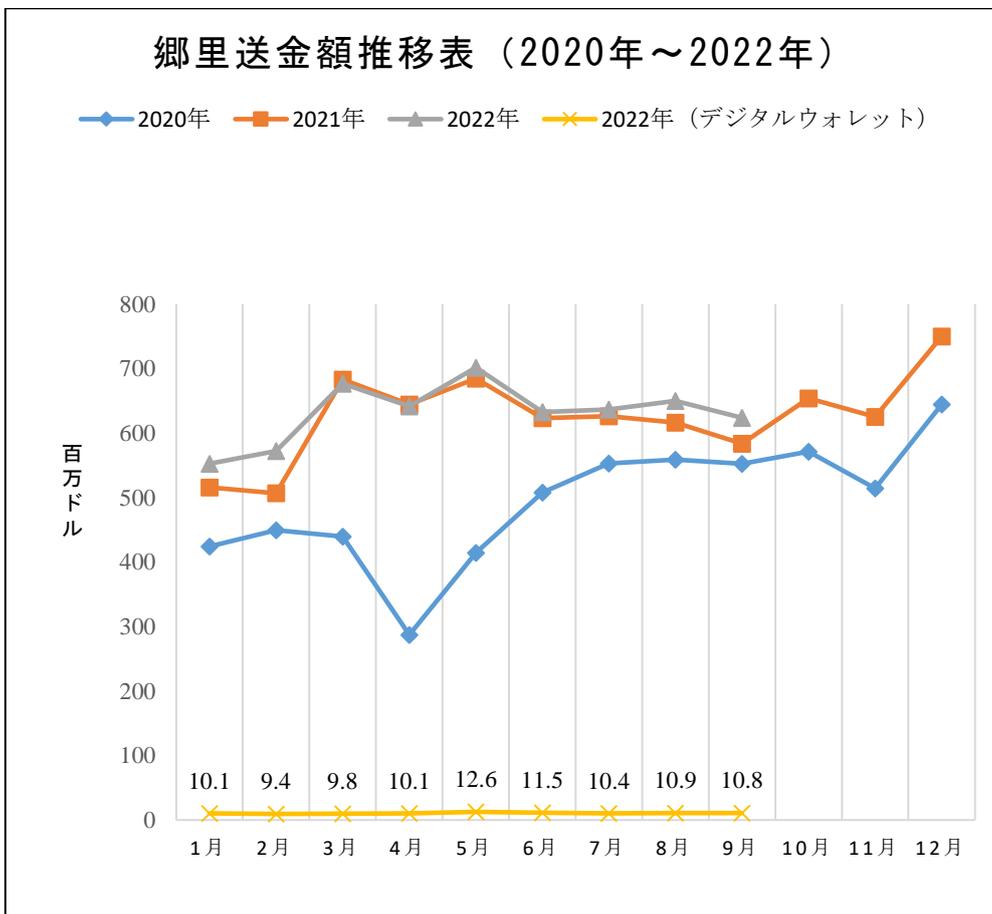


### 9. 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

- ・ 2021 年度の貿易収支額はマイナス 84 億 4,720 万ドルとなり、前年より赤字額が 28 億 8,357 万ドル拡大した。
- ・ 2021 年の郷里送金額は 75 億 1,710 万ドルとなった。そのうち米国からの送金は全体の 94.9% (71 億 3,050 万ドル) を占めた。



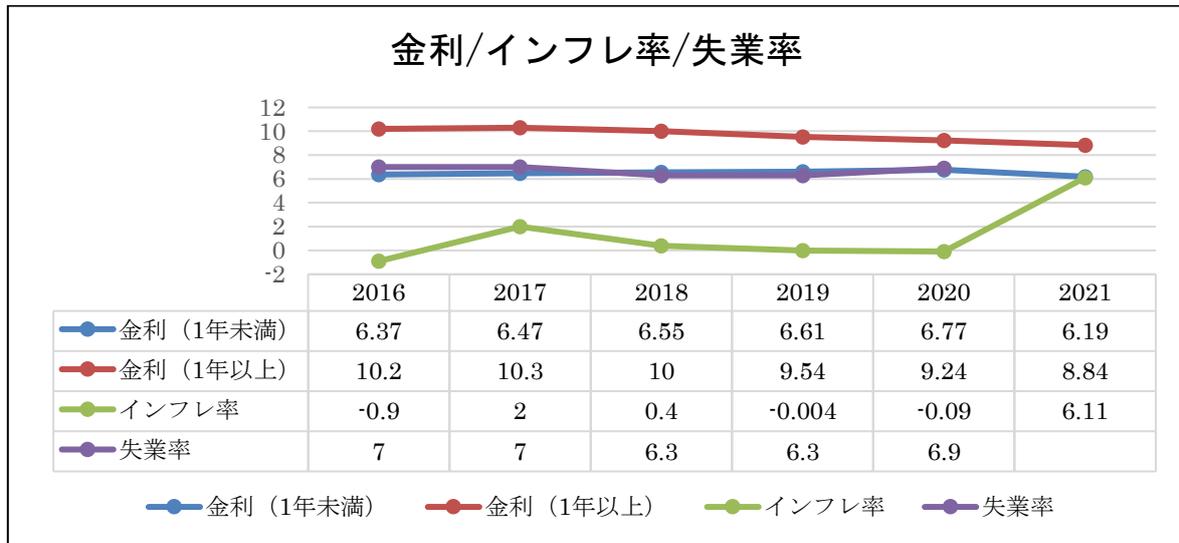
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

## 10. 金利・インフレ率

・2021年のインフレ率はプラス6.11%であった。また2020年のインフレ率はマイナス0.09%であった。2020年の失業率は6.9%であった。



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

## 治安

### 1. 例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限）の期間延長（報道：主要各紙）

9月14日、国会は、例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限）の30日間の期間再延長を承認した。今回も野党の国民共和同盟（ARENA）、ファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）、バモス党（VAMOS）及び、Nuestro Tiempo 党は反対票を投票した。国家文民警察（PNC）によると、今月は9月13日までで殺人が無かった日は11日間あり、そのうち7日から13日は7日間連続で殺人が無かった。また、2022年は255日のうち、殺人が無い日は106日間あり、このうち例外措置体制発令以降の殺人事件のない日の日数は99日間となった。

### 2. 8月の殺人件数（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

ブケレ大統領は、2022年7月及び8月はエルサルバドル史上で最も安全な月であり、殺人の無い日がそれぞれ21日間ずつあったと強調した。2015年8月の1日あたりの平均殺人件数は29.61人であったが、2022年8月の1日あたりの平均殺人件数は0.45人となり大幅に減少した。例外措置体制の発効以降、治安当局は、51,000人以上のギャングメンバーを拘束した。これらのギャングメンバーは、エルサルバドルで過去30年間に起こった殺人の70パーセント以上に関与している。

### 3. 盗難及び強盗犯罪の増加（報道：ラ・プレンサ・グラフィカ）

(1) PNCのデータによると、2022年7月及び8月は、例外措置体制が継続しているにもかかわらず、窃盗及び強盗犯罪が増加した。8月は、窃盗及び強盗犯罪の通報件数が773件あり、7月より通報件数が46件多かった。それ以前の月は、603件から645件であった。

(2) 当国の警察官によって組織されている労働組合の事務局長は、例外措置体制発令後の数か月間の犯罪を分析したところ、ギャングとは関係の無い一般犯罪が増加していると説明した。同局長は、この数か月、特にこの3か月は、強盗の増加が顕著であると述べた。その理由として、ギャングがテリトリーにいた頃は、ギャングの支配地域で犯罪行為を行うためには、一定の上納金を納める必要があったが、例外措置体制下でギャングの支配地域が減少し、上納金を納める必要がなくなったためであると説明した。

(3) 8月は、性犯罪も増加した。PNCは、8月の性犯罪件数は、7月より25件多い236件の被害を報告し、本年は、2021年よりも8.7パーセント多く、1,730件となっている。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1:十分注意区域	レベル2:不要不急の渡航中止区域
国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	プエルタ・デル・ディアブロ
プレシデンテ劇場	
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタテレサ温泉	
スチト旧市街	
サンアンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサブランカ遺跡	
サンタアナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サンミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	行方不明者	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦	交通事故死	誘拐
2022年8月	618	155	241	18	43	135	58	8	237	106	0
2022年9月	590	143	290	19	36	120	56	9	213	102	1

